

ご来院の皆様へ
臨床研究「胃の有茎性ポリープ出血に対して留置スネアが有用であった症例」
へのご協力をお願い

1. はじめに

上部消化管出血の原因の一つに胃の過形成性ポリープからの出血があります。レーザーで一時的に止血しても再出血が見られます。緊急的に内視鏡的粘膜下層剥離術や粘膜切除術行うことは難しく、待機的に行ったとしても処置中にポリープ茎内の太い血管から止血困難な活動性出血を誘発することもあります。出血している有茎性ポリープ基部に留置スネアなどで阻血し壊死脱落させ止血得られた症例を経験したため報告します。

何卒、ご理解とご協力を頂きますようお願い致します。

2. 研究の方法について

2017年4月から2023年3月まで胃ポリープに対して留置スネアや止血クリップ用いて止血治療を受けられた患者様を主な対象として、処置時間、偶発症、入院期間や生存期間などに注目して検討します。尚、本研究は当院の倫理委員会により所定の審査を経て許可を得て行っております。

1. 診療情報等の管理について

研究のデータは主に電子的に処理され、本研究の結果を解析するために使われます。解析のために患者様の診療に関する医療情報を使用させて頂く場合がありますが、個人情報保護のために、名前は記号や番号に置き換えて取り扱われます。皆様の個人情報の管理は十分慎重に行い、プライバシーの漏洩がないように致します。

2. 研究参加への同意または不同意について

この臨床研究への参加の同意・不同意は患者様の自由であり、同意しない場合でも、なんら不利益を受けることはありません。また、参加同意後もいつでもこれを撤回できます。研究への参加をご希望されない方、また参加同意を撤回されたい方は、お手数ですが次ページを印刷のうえご署名頂き、最寄りのナースステーションまたは臨床試験推進センターまでご提出をお願い致します。

5. 研究成果の公表について

この研究によって得られた研究成果などが、科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、公開内容には個人のプライバシーに関わることは含みません。

ご不明な点やご質問などございましたら下記連絡先までお願い致します。

2023年 5月 16日

〒309-1793 茨城県笠間市鯉淵 6528

茨城県立中央病院 消化器内科 大関 瑞治

<不同意書>

茨城県立中央病院院長
島居 徹 殿

私は、「胃の有茎性ポリープ出血に対して留置スネアが有用であった症例」の研究に同意致しません。

令和 年 月 日

氏名
(ご本人様またはご家族様ご署名)

- ・ご家族様がご署名の場合には、患者様ご本人のご氏名もご記入下さい。